

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		し尿処理事業費 [し尿処理事業]									
予算科目	款 4	衛生費	項 2	清掃費	目 3	し尿処理費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策） 課				ごみ減量 係		課長名	梶川 義夫			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	4 - 7			
【施策名】 ごみの減量とリサイクルの推進							総合計画書 (ページ)	97			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	汲み取り式便所及びし尿浄化槽				便槽及び浄化槽の設置数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。				清掃実績／設置数×100							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
汲み取り式便所及びし尿浄化槽のし尿汲み取り及び清掃				①汲み取り便所の汲み取り世帯件数 ②し尿浄化槽の清掃世帯件数 ③合併浄化槽の清掃世帯件数							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	箇所	便槽 46 し尿浄化槽 311 合併浄化槽 5 合計 362	便槽 41 し尿浄化槽 295 合併浄化槽 3 合計 339	便槽 38 し尿浄化槽 285 合併浄化槽 3 合計 326					
	成果指標	②の数値	%	27.1	33.0	30.7					
	目標	②の目標値	%	50	50	50					
	目標値設定の考え方 市内に設置されている便槽及び浄化槽の適正管理に努めるため、清掃作業を実施する。										
活動指標	③の数値	件	便槽 35 し尿浄化槽 59 合併浄化槽 4 合計 98	便槽 34 し尿浄化槽 75 合併浄化槽 3 合計 112	便槽 20 し尿浄化槽 70 合併浄化槽 4 合計 100						
3 経費	事業費（実績）		円	41,220,263	38,784,420	37,898,736	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	33,739,263	28,606,420	29,962,736					
		特定財源（国・都・他）	円	7,481,000	10,178,000	7,936,000					
		（うち受益者負担）	円	1,340,000	1,446,000	1,621,000					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	8,310,000	8,380,000	8,250,000					
	職員人件費(再任用)	円									
事業費＋人件費		円	49,530,263	47,164,420	46,148,736						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和29年度								
	(2) 環境の変化										
			昭和29年7月1日、清掃法の施行に伴い固有事務として開始。								

事業名称	し尿処理事業費 [し尿処理事業]			
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策）	課	ごみ減量	係 課長名 梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について し尿処理施設を複数市で共同運営している関係で、容量の大きい浄化槽の清掃依頼の申込可能日が限定的になる。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）  公共下水道の整備率は、99.9%の状況にあることから、市街化区域内に設置されているくみ取り便所及びし尿浄化槽は、早急に公共下水道へ接続する義務がある。したがって、公共下水道使用者との間で、公平性に欠けるものとなっている。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。  ・長期間清掃を実施していなかった浄化槽の清掃があった際に、所有者に対して公共下水道接続を促した。 ・清掃及び汲取りが長期間実施されていない便槽及び浄化槽を現地調査し、廃止等の処理を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）  令和2年度と令和3年度を比較し、対象指標は13件減少している。ただ、公共下水道の整備率は、99.9%の状況にあることから、引き続き、市街化区域内に設置されているくみ取り便所及びし尿浄化槽は、公共下水道へ接続を促す必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： ごみの減量とリサイクルの推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・公共下水道への接続を促進する。 ・し尿処理手数料については、処理原価を勘案した改定を行うことが求められる。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	し尿処理事業費を削減するには、下水道課と連携し、公共下水道への接続を促進していく必要がある。			